

第6回みんなのタウンミーティング会議報告（令和5年度第3回）

- 1 開催日時 令和5年6月30日（金）午後7時00分～8時30分
- 2 開催場所 オンライン
- 3 参加者 市長及び市民8名
- 4 会議次第
 - (1) 開会
 - (2) 市長あいさつ（市政報告）
 - (3) 懇談（フリーテーマ）
 - (4) 閉会

5 懇談内容要旨

	件名	ご意見・ご要望等	市長からの回答等
1	学童保育所の窓ガラスについて	先週、学童保育所で窓ガラスが割れるという出来事がありました。そのままずっと段ボールで塞がって、半径3メートルぐらいが近づけないように封鎖されています。 学校から学童に来る際、子どもが石を投げて割ったという出来事で、保護者に弁償させるのか、学童の担当部署が出すのか、学校からなのか、決まっていられないんですが、取りあえず、市からまず窓ガラスを直してもらって、その上で保護者の方にどう対応するのかということを決めるということではできないのでしょうか。	今この話を初めて聞いたので、状況が詳しく分かっていないんですけども、壊れたものはすぐ直すのが当たり前ですので、事の経過を含めて詳しく確認し、すぐ対応できるようにしたいと思います。
2	誰でもトイレについて	前回も誰でもトイレについて質問したんですが、近いうちに調査結果をまとめて御報告したいというふうにお話をいただいているんですが、その後はどうなのでしょう。	今手元にありますので、簡単にまず報告させていただきます。公表するというところはまだ決めてないんですけども、まず、ここで何回か前に御提案いただいて、調査中ですよというのを前回お答えさせていただきました。結論から申し上げますと、いわゆるバリアフリートイレというか、そういった配慮が必要なトイレの設備にしているところが、小金井市で持っている箇所と言うと148か所あります。これは、集会施設、美術館、公園、その他施設、あと学童保育、小学校、中学校、あるところを全部調べました。 作動状況でいきますと、警報装置が設置されている施設はおおむね正常に作動することが確認できたんですけども、一部の学童の施設では、仕様の確認が必要であるということになっています。小中学校については、車椅子対応のブースを設置しているため、警報装置がないところが多いです。 点検をどうするかについてですが、職員による点検は実施しているんですが、部分的に学校や学童、体育施設の13か所で点検が随時行われてないのではないかとということが分かりました。ですので、この間ブザーが稼働しないというような話をいただいていたんですが、今回一通り全部調べたところ、今のところはブザー、赤色回転灯といったものが設置されているところは、回転灯も含めて稼働はしているという結果でした。 ただ、警報装置がないところも実はあったりとか、おおむね正常に作動しているんですが、一部作動していない、仕様の確認が必要などところもありまして、問題提起いただいて改めてこちらで調べたところ、そういう課題が見つかったということでございます。
		会議録を載せるだけでなく、その後こういうふうに、それを具体的にやったということを報告して欲しいという感じがしますので、そういうコーナーを作っていただければと思います。いかがでしょうか。	ホームページとかに掲載するなど、公開についての話はまだできていないので、その仕方についてはちょっと考えさせていただきたいと思います。
3	みんなのタウンミーティングの会議録について	実際に車椅子の人が使っていたというわけではなくて、事務所の人がブザーを押して鳴ったかどうかというだけの結果だと思いますので、実際に子ども、車椅子の人がいて、どういったことが起きたのかということを中心に調査してほしいんですね。そういうことをお願いしたいと思っています。	—
		みんなのタウンミーティングの結果について、公式サイトではまだ3月のものまでしか会議録が公開されていないので、遅いんじゃないかと思うのですが、どうでしょうか。	【広報秘書課長】 会議録が遅い、公開できていないということで、すみません、順次公表できるように努めてまいりたいと思いますので、よろしくお願いします。

	件名	ご意見・ご要望等	市長からの回答等
4	市議会会議録及びインターネット配信について	<p>過去のユーチューブの本会議の議事録が役立っているんですが、中身が何なのかというのがユーチューブのタイトルを見ただけだと分かりません</p> <p>情報をいっぱい用意していただいているのはすごく感謝なんですけれども、分からない人がどうやってアクセスするのかということに関して、すごく垣根が高いというのが印象としてはあるので、そこは何とかならないのかなと。</p> <p>ユーチューブのタイトル以外のところで、例えばこれはこの議案に関してやっているんですよ、というようなことが追って分かるような形にできないものだろうかと思っています。</p> <p>例えばユーチューブのタイトルのところと議事録と、何か照合すれば分かるみたいな符号をつけておいていただくとか。あと、議事録もどこに何があるのかというのがよく分からないんです。</p> <p>客観的に見たときに、自分が知りたい議事録がどこにあるのかということに関して簡単にアクセスできないというのは課題かなと思っています。議事録をまず見て、ユーチューブで実際にどういうことが語られたのか、生の声が聞きたいときには、そこに何か符号みたいなものが書いてあって、それをユーチューブで検索すればすぐ分かるみたいな仕組みがあるとすごく助かるので、出来る、出来ないはあると思うんですけれども、その辺はぜひよろしくお願ひしたいです。</p>	<p>私の方からお答えするのは非常に難しいです。なぜかと言えば、これは市議会マターになるからです。市議会のことについて、首長が勝手にこんなことを言っていたというのはよくないので、私が把握している限りですと、私も以前市議会にいたものですから、実は同じような市民からの御意見というのは何度かいただいていたし、恐らく同じように感じる方はもっと多いんじゃないかなという気はしています。どこを見れば何を聞けるのかが分からないということですよ。ですので、もう少しタイトルのつけ方であったりだとか、キャプションをつけるというか、説明のサブスクリプションをつけるか、色々多分やり方はあるんだろうと思うんですけれども、現在そのユーチューブの仕組みが無料の範囲内でやっておりまして、あまり精緻な取組になってないというところは一つあります。</p> <p>ユーチューブがどういう記録的な扱いかという点、公式な記録という扱いではないんです。あくまで補完する記録というような位置づけに、たしか議会で整理していたような気がしますので、こういう御意見があったということは市議会にフィードバックはしておきたいと思ひます。</p> <p style="text-align: center;">—</p>
5	消防団ホームページについて	<p>小金井市の消防団募集のページあると思うんですが、ここを見ると、ボランティアですって書いてあるんです。結論から言うと、これは修正した方がいいんじゃないかと思っています。総務省のページを見ると消防団員は報酬の出る非常勤特別職の地方公務員であるとして書いてあって、いわゆる消防団に関する質問のウェブページにはボランティアという言葉は一言も出ていないんです。</p> <p>消防団員の報酬・手当に関しては最寄りの市役所とかに聞いてくださいと書いてあって、それに対応するページが小金井市の場合はないんです。</p> <p>これに関しては、ボランティアという表記ではなくて、ちゃんと非常勤特別職の地方公務員ですよということを示した上で募集をかけたほうが、全然応募する側の印象も違うんじゃないかなと思っています。</p> <p>消防団は、いわゆるボランティアではなくて、ちゃんとした身分に基づいて報酬が支払われるものなんだということを示していただいて、小金井市では悪い慣習・慣例に関しては一切切り離しているということをウェブサイト上で示していただいて、逆に消防団に対する信頼と名誉を回復することに努めるべきんじゃないかなということ、消防団員の募集ページの「ボランティア」という言葉一つなんですけれども、すごく感じたところがあったので、そこはお知らせしたいです。</p>	<p>御指摘いただいたこと、誤解を与えてしまうんじゃないかということも含めて御意見として承りましたので、適切な表現は何かというのを検討するのに時間がかかったりするかもしれませんが、関係者と話をして適切な表現に変えるようにしたいと思ひます。</p>

	件名	ご意見・ご要望等	市長からの回答等
6	外国人支援ボランティア団体の活動について	<p>日本語の教師、ボランティアで日本語を教えるということをやりたいなと思っていて、小金井の中で幾つかそういうボランティア活動をされているところがありまして、その一つに、小金井国際支援協会K I S S Aがあります。スタッフを見ますと、かなり力のある方々が自分の時間を使って、無償で、小金井市民の中で日本の生活になじめなかったりする人たちの支援を今しています。</p> <p>私自身は、学童支援クラブというところで学童クラブの支援を今させていただいており、学童支援は小学校1年から3年のところなんです、小金井市の中で外国籍で日本語の習得に関して困っていらっしゃる子どもたちや御父兄の方が結構いらっしゃると思うんです。</p> <p>今回、小金井国際支援協会K I S S Aは、小金井の助成金、さくらファンドを申請させていただいて、パンフレットを作っております。K I S S A以外にもっと古くからやっていらっしゃる場所もあるかとは思いますが、ぜひ、転入する際、市役所の窓口を必ず通ると思うので、そのところに、小金井市の中でこういう活動をしているという活動のパンフレットを置かせていただきたいと思うんですが、いかがでしょうか。</p> <p>市の立場として偏ってもいけないと思うので、こういう活動をしているのは他にも何社かあるかもしれません。不平等があってもいけないという市の立場も分かるので、こういうものが、この形じゃなくてもいいんですけど、こういう活動をしている、要するに、こちらに来られた方が困らないような場所が市の中にあれば一番いいと思います。それはちょっと厳しいと思うんですが、市としてボランティア組織を利用して、ぜひ住みやすい、ここに来てよかったと外国の方、ここで生活されている方々が喜ばれるような行政がいいのかなと思いますが、小金井は、そういう意味ではすごく遅れていると思います、ですので、もっともっとボランティアでやっている人たちにバックアップをしていただきたいと思っています。</p>	<p>窓口の担当とも相談しながら、検討したいなと思います。その背景としては、今日こういう御提案というか、問題提起をいただいておりますが、前回も別の方が、やはり日本語に困っている子どもがたくさんいるよということで、そういう支援をする仕組みが小金井市としてうまく整えられてないよねという、こういう御指摘をいただいております。議会でも、実は若干そういうことについても取り上げられたりとか、その必要性というのを私も認めてきたところですので、まず市として何ができるかということ今整理しているところでもありますから、それをひとつ検討として材料に入れさせていただきたいなと思います。</p> <p>パンフレットの件ですが、対応する担当窓口が今小金井市になく、それをずっと指摘はされていますので、何とか解消したいなというところもあります。まず、パンフレットができましたら、1部でもいいので広報秘書課に持ってきていただければと思います。まだ必ず置けるということは現段階では確約できませんので、それは窓口の都合であったりだともあるので、一旦こちらでは整理をさせていただいた上で、頂いたものを置けるのであれば置くという形にしたいと思っています。</p> <p>問題認識はしっかり持っておりますので、地道にどうできるかというのを考えていきたいと思えます。</p>
7	市民協働について	<p>市民協働支援センターは、準備室というのが社協の中に設置されていますよね。助成金のさくらファンドもそうですし、それからゆめファンドというのがありますが、助成の金額がかなり違います。こういう支援してくれる体制に対しては本当にありがたく感謝していますし、これを申請したときに、なるべく多くの方々がそれに当てはめられるように市のほうで御協力をお願いしたいです。</p> <p>この市ほど積極的に市民団体が動いているところも本当に珍しいんじゃないかなと思うほどに、子育て支援のお母さんたちも仕事を持ちながら多くの活動をされていることは市長も御存じだと思いますが、さらに市としてそういう人たちのバックアップするためにどうしたらいいかという、やっぱりお金の問題が出てくると思うんですね。ですので、そこら辺を踏まえて、市の財政も分かりますけれど、人を動かすほどお金がかかりますから、ボランティア活動を自発的にされている方はすごくいらっしゃるの、そのための支援をよろしくお願いたします。</p>	<p>さくらファンドというものは、たしか、社会福祉協議会がやっているものなんです。市民団体に対して助成する事業で、大きな額ではないんですけども、市民協働とか、市民活動を支援するという目的でやっているものです。ですので、市民活動をやっている方は、実はそれなりに情報というのは入ってきたりもするんですけども、一般的にはあまり知られてないところが課題かなとは思っています。</p>

	件名	ご意見・ご要望等	市長からの回答等
9	民間保育所の補助金過大受給について	<p>前回、市長の方から、保育園の不正受給の件に関して、ツイッターで語られていることと実際は違うんだというところでいろいろお話をお伺いした覚えがあります。一部の議員さんに保育園の件をお話ししたところ、金額だけが独り歩きをしまして、いわゆる小金井市で4,000万円のうち、全てが不正みたいな話になってしまったと。実際、業者による不正というのは420万円ぐらいでしたっけ。あとは行政の不手際によるものであって、そこは誤解が生じているんですよというような説明を、ざっくりとして申し訳ないんですけども、御説明いただきました。</p> <p>前回のタウンミーティングで、私もツイッターは双方向性という特性があるので、それを有効に活用してほしい、そういうことに関してツイッターでリプライをして、誤解されている方々にお伝えいただけますかというお話をし、市長にはその時、力強く分かりましたとおっしゃっていただいたと思うんですけども、その後、色々諸般の事情があるのかなという理解なんですけど、特に具体的にそういう話もないまま長い時間がたっていますが、状況はいかがでしょうか。</p>	<p>保育園の補助金の件ですが、大きく2つの補助金に関する問題がありまして、1つは、株式会社コスモズさんというところが、うちだけではなく武蔵野や小平や杉並、三鷹、こういったところで保育園を特に新設する際に、工事費の補助金を過大に受給しているんじゃないかという、どちらかという不正という色合いについて報道されたりもしています。</p> <p>それに関して、小金井市のコスモズの第十八保育園というところで、約420万円の不正受給があったんじゃないかという、今そういう報道もされ、我々も調査委員会の報告書を受け取って、そういう認識ではいるものの、会社としてはまだそれを否定していたりだとか、そういうやり取りがあります。</p> <p>まず、補助金の問題の一つは、特定の民間保育園の件で色々問題が起こっているという件です。その件があったから、市で独自に過去5年間分の補助金の実態を見たいというか、内容を改めて再確認をしたんですね。そこで分かったのは、最大約4,000万円の補助金の過大支給があった。それは保育園さん側の問題というよりは、我々が、行政がしっかりチェックできていなかったんじゃないかという、こういう問題なんですね。ですので、同じ補助金でも問題の本質が違うといえますか、そういうことになっています。</p> <p>それについては、今まだ途中報告の段階ですので、次の担当の委員会ぐらいまでには大方また報告できることはあると思いますので、また続報は色々なところで発信をさせていただこうと思っています。</p>
10	市長のツイッターの捉え方について	<p>ツイッターで色々積極的な対話というのを私のほうでも試みているところで、ある政党の支部長さんと直接お話をさせていただく機会があって、ツイッターってどんな感じなんですかという話を聞いたところ、双方向のコミュニケーションであるがゆえに難易度が高いと。建設的な議論とならない場合などは精神も時間も削られてしまうので、ほかの活動を優先せざるを得ないというような話も聞いていて、その辺、白井市長のツイッターとの向き合い方、先ほどお話ししたある政党の支部長さんと同じような印象で考えていらっしゃるのか、どうなのかなと思います。ちょっとしたことでも役立つ情報って、すごく沢山あると思うので、その辺を、やっぱり難しいものというふうにお考えなのか、正直なところを、忌憚のない御意見をお伺いしたいというところです。</p>	<p>ツイッターの使い方は、双方向ゆえに難易度が高いというのは、それはそれで恐らく事実なんだろうなと思っています。私も、もうツイッターを使い始めて10年以上たちますが、やっぱり難しいのは難しいなと思いますよね。特に、私は市長という立場ですから、市長という立場でどういうレベル感で書いたらいいのかとか。以前指摘されたのは、ある民間保育園で、保育士が大量に出勤しない、急に一時休園するという話になったときに、市のホームページとかでどこにも出していない情報を、私がツイッターで先んじて出したということがあったんです。</p> <p>ただそれは、別の市議会議員さんが不適切な書き方と思われる内容でその情報を先に書いていたので、いや、そうじゃないよと、私自身が上書きするという意味合いも含めて書かせてもらったんです。ただ、その内容は既に市議会議員には情報提供している内容でしたので、市のホームページには出していなかったんですけども、ツイッターで、間違っただけで出回るよりは、何を言われようが私が今分かっている内容はこれですというのを出した方が良くって使わせていただきました。</p> <p>ただ、これが、何で市長があのようなツイートをすると各方面から指摘されたんですけども、あれが良かったかどうかというのは、私としてもなかなか、自分でも評価はできないのかなと。私はその時に、誤った情報が流布されるよりは、私の責任で今こういう状況というのは書ける範囲で書いたほうがいいと思ったので、私としては間違っていないと思ったんですけども、ただ、そういうふうに言われるということ自体も分かりましたので、次同じような状況になったときにどうするかというのはまた考えたいと思います。</p> <p>あと、やはり双方向ですので、本当はもっと、市議会議員の時は、色々リプライのし合いをやっていたんですけども、正直そこまで時間が取れないというのが現状でございます。ただ、さっきも述べましたように、これはあまりにも誤解として受け止められているということについては、場合によってこちらからリプライをかけて、いや、そうじゃありませんよって書いたりするケースもありますし、リプライをかけられてもお答えできなかったりもするんですけども、私なりにある意味ストレスのない範囲で、できる範囲で、ここだけはちゃんとお返事しておいた方が良くないとか、こっちが事実ですよと伝えたほうが良くないとか思ったりするところには、出来るだけやるようにはしています。</p> <p>今、どちらかという、情報発信のほうに意味合いとしては濃い使い方をしてはいますが、本来、双方向で使うというのが効果的なツールだと私はやっぱり思っているんで、できる範囲で使うしかないなという感じなんです。ツイッターを使うことで、さっき仰っていただいたように、ある意味有益な情報として受け取っていただいて、自分のアクションに繋がったということがあるわけですから、どちらかという市長という立場は最大限使わせていただいて、ある意味市の宣伝であったりだとか、事業に参加いただくとか、小金井市のファンをつくるということについては最大限使わせていただこうとは思っています。</p>

	件名	ご意見・ご要望等	市長からの回答等
		<p>ツイッターって結構間違った認識とか、誤解とか偏見を持たれている方ってそれなりにいらっしゃるんで、そういう方々に対して正しい情報というのは出す。私なんか言ったところでそんなに響かないと思うんで、やっぱりそれなりのフォーマルなスタンスを持たれている方から、これはこういうことなんですよというふうに随時出していただく。それが、色々な問題があるのは重々承知なんですけれども、私なんか、そもそも日々の生活に追われてなかなか細かく市政の情報とかを収集するのも限界があるので、ツイッターをやむなく使っているというところもあるので、日々の生活の中でもかいつまんで見るだけで正しい認識が持てるような情報発信・情報提供というのを期待しているところはあります。</p>	<p>ありがとうございます。また、色々考えながらやっていきたいと思います。</p>
11	<p>今後の学童保育所の展開と空き時間の活用について</p>	<p>私は、学童保育所や児童館で運営している施設で働いているんですが、小金井市も民設民営の学童の誘致をしたり、あとは子どももかなり増えてきて、学童の狭隘状況もかなりひどくなってきたなというところで、今後学童保育所をどのように展開していくのかという市の見解も知りたいです。</p> <p>また、学童保育所って基本的には午後しかやらないので、午前中は施設が空いているんですね。なので、他の自治体であれば午前中にコミュニティカフェを運営したりですとか、無料塾で夜の部分を使ったり、あとは子ども食堂をやったりとか、多角化というか、施設を有効活用しながらやっている自治体もあったりするので、市のビジョンというか、こんな方向で小金井市はやっていきたいなというのがあればお聞きしたいと思っております。</p> <p>自分も、これから小金井市で仕事をしていきたいなと思っておりまして、その中では、子育て支援や無料塾とか、子ども食堂とか、そういったものの補助があれば、そういったものも検討していきたいなと思っておりますので、ぜひ市長の御意見を聞ければと思っております。よろしく願いいたします。</p> <p>私は、実際学校内学童を自分で運営している事業者として、学校内って学校の制約がすごく厳しくて、児童館の中でやっている学童みたいな運営ができないんです。なので、確かに場所はいいんですけれども、スペースを確保する部分に、学校の放課後というのは、空きはあるんです。ただ、運営をしている中で、どうしても子どもに自由な運営、例えば児童館だったら泥だんごが作れるけど、学校は掘ったりしちゃいけないですとか、結構放課後の制約が強くて、ここは一輪車に乗っちゃいけないとか、1年生はそもそも乗っちゃいけないとか、学校のルールはすごいんです。なので、先ほどの跡地活用じゃないですけども、くりのみとか、これからどうやって使っていくのかなとか、そういう施設を使うと、学童保育所にすると午前中は空っぽになってしまうので、そこをどう有効活用するとか、そういったところで市の今後の政策を期待しておりますので、今はなかなか難しいと思いますが、今後ともよろしく願いいたします。</p>	<p>小金井市の学童については、今、民設民営の件も出していただきましたけれども、喫緊の課題と言いつつも、ここ何年も同じような状況ではあるんですが、大規模化という問題について、まだ全然解消の見通しが立てられていないというところは一番大きな問題です。大規模化というのは、入所児童が増えることによって児童1人当たりのスペースというのが足りなくなってきたり、新しい学童保育所をまた建てたりとか、学校の教室を使わせてもらったりだとか、色々なやり方を駆使して何とかしている状況でして、ここがまだ道筋をつけられていないというところなんです。ですので、実は今も言っていたように、例えば空いている時間の使い方をみたいなことなんかも、今後は考えていきたいところはあるんですけれども、正直そこまでまだ考えるいとまがないというか、そういう状況ではあります。</p> <p>ただ、おっしゃっていただいたように、施設、もしくは設備があるわけですから、そこを有効活用するというのはいくつかあるかと思いますが、一応、公設公営ですとずっとやってきたものを公設民営にしてきたんですね。まだ公設公営の学童も、確か3つあるんですけれども、公設民営をしてきたところについては、午前中に子育て広場をやったりだとか、そういう使い方は実はやらせていただいているんですね。</p> <p>ただ、おっしゃっていただいたコミュニティカフェとか、子ども食堂とか、そういう使い方ができるというのも一つアイデアとしてはありますので、ただ、やっぱり大規模化の問題が片づかない限りなかなかそこに踏み切れないというか、頭を振り向けられない状況です。どこが一番緊急的な課題として対応しないといけないかというのはもう分かっていますので、まずはそこに短期的には取り組むということと、長期的に、今は全入原則でやっているんですけれども、私としては全入を続けたいけれども、ただ、そうすると大規模化に対してずっと課題を抱え続けることになるので、それについても、どこかでもしかしたら考えないといけないタイミングが来るかもしれないなというところなんです。</p> <p>答えになっていないかもしれないんですけども、現段階においては、今目の前で色々なすぐに片づけないといけない大規模化の問題に追われておりまして、その先の学童のビジョンまでお話しできる状況ではないというのが現状です。</p> <p>今、学校も、実はできる限り既に活用させていただいているんですけども、学校自体が、教室が足りなくなってきました。特別教室をかなり活用してきたので、学校施設も使えなくなっているところも増えてます。そもそもが使いにくいというのは、おっしゃっていただいたとおりで、なかなか思うような活動がやりにくいよねということとか、そこは課題もあるということは重々承知しております。本当にこの問題は片づけないといけないと思いますので、色々駆使して考えたいと思います。また御意見、御助言をお願いしたいなと思います。</p>